令和7年度　鳥取県立倉吉養護学校
高等部

キーワードは、
自立と社会参加

＜高等部の教育＞

小学部

経験・心の耕し
スキルの獲得

個々の発達段階を考慮し、いろいろな経験を積むことで意欲を育み、基礎となるスキルの獲得をめざす

中学部

よさを生かす
方向性をさぐる

個々の興味・関心や適性に応じた活動をさぐり、主体的に取り組む力を育てる

高等部

社会で生活
生活の安定

充実した社会生活をめざして培ってきた力や経験した活動を卒業後の生活に生かせるようにする

- 卒後の生活の見通しや目標を持つ。
- 思いを自分から伝えられる。
- 自立と社会参加を意識して行動する。
- 自己理解、自己決定を意識して行動する。

＜学部目標＞

将来の社会参加に向けて働く力や心身共に安定した生活をする力を高め、自分の考えをそれぞれの表現方法で相手に伝えることができる生徒の育成

学部の　合言葉

「すてきな社会人をめざして チャレンジ！」

自立と社会参加

＜高等部の教育＞

肢体不自由教育部門

〇今年度は、該当生徒がいないため、ありません。

知的障がい教育部門

〇単一障がい学級…参加コース

〇重複障がい学級…生活コース

＜高等部の教育＞

知的障がい教育部門の教育　【単一障がい学級】

指導の形態	教科等	努　力　点
教科別領域別の指導	国語	卒業後に必要な国語についての理解を深め、伝え合う力を高めるとともに、それらを活用する能力と態度を養う。
	社会	地域の環境や社会の仕組みについて様々な生活経験や情報を活用することによって理解を深めるとともに、社会に主体的に関わり、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養う。
	数学	社会生活や職業生活に必要な数や量、実務などに関する理解を深め、生活や学習の中で活用する能力と態度を育てる。
	音楽	表現や鑑賞の活動の楽しさを体験し、味わうことで、音楽への興味関心を深め、生活を明るく豊かにする態度と習慣を育てる。
	美術	表現及び鑑賞の活動を通して、表現方法を創意工夫し、発想や構想することができるようにし、美術の創造活動の喜びを味わい、心豊かな生活をしていく態度を養う。
	保健体育	運動することによって、体力の保持・増進や運動能力・技能の育成を図るとともに健康・安全に関する事柄を理解し、課題に気がついて解決しようとする力を養う。また、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。
	職業	働くことの大切さについて理解するとともに、自らの適性について考え職業生活に必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。
	家庭	家庭生活において、家族・家庭、衣食住、消費・環境等に関して基礎的な事柄を知り、人との関わりを通して、よりよい生活になるように工夫する力を高め、実践的な態度を養う。
	情報	情報機器の操作方法を習得しながら、効果的なコミュニケーションの方法について知ることや、問題を解決するために必要な情報を活用することを通して、情報社会に参画するための態度を養う。
	自立活動	障がいの状態や発達段階を的確に把握し、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を培う。
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	基本的生活習慣の定着を図り、健康で安全な社会生活を主体的に営むための知識・技能・態度を養う。
	生活単元学習	生活に即した活動を通して、基礎的な知識や技能、態度を養い、主体的に社会生活に生かそうとする態度を育てる。
	作業学習	作業活動を通して働くことに関心を持ち、主体的に働く態度と、将来の職業生活や社会自立に向けて基盤となる資質能力を育む。

＜高等部の教育＞

知的障がい教育部門の教育　【単一障がい学級】

<table>
<tr><td colspan="2">特別の教科　道徳</td><td colspan="2">自分を振り返り、節度ある生活を心がけ、自分の役割を果たそうとする態度や、仲間を理解し、助け合おうとする態度を養うとともに、実践に向けての意欲を育てる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">総合的な探究の時間</td><td colspan="2">課題の発見や解決に向けて、体験的、主体的、協働的な学習活動を通して、必要な資質・能力を身に付けていくとともに、自己の在り方やよりよく生きようとする態度を養う。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">特別活動</td><td>学級活動</td><td colspan="2">集団活動に自主的に参加し、仲間と協力して活動したり、自分の役割を最後まで果たそうとしたりする態度を養う。</td></tr>
<tr><td>生徒会活動</td><td colspan="2">社会や集団の一員として主体的に考えながら活動に取り組むとともに、よりよい人間関係づくりをしていく態度を育てる。</td></tr>
<tr><td>学校行事</td><td>・始業式、終業・修了式
・入学式、卒業式
・運動会、くらよう文化祭
くらようショップ
・修学旅行、各種検診</td><td>仲間と協力して活動を進めたり、指導者の指示で準備・片付けに取り組めるようにする。</td></tr>
</table>

＜高等部の教育＞

知的障がい教育部門の教育　【重複障がい学級】

指導の形態	教科等	努　力　点
教科別領域別の指導	国語	日常生活や社会生活に必要な言葉や文字を理解し、表現する技能と態度を育てる。
	数学	数量的な感覚を豊かにし、日常生活での数量や図形などに関する基礎的な力を養う。
	音楽	表現や鑑賞の能力を高め、生涯にわたって音楽に親しもうとする態度を養う。
	保健体育	体力や身体諸機能の向上・維持や社会生活における健康・安全についての学習を通し、心身における健康についての理解を深め、生涯にわたって明るく豊かで活力のあるスポーツライフを営む態度を育てる。
	情報	身近にある情報機器の操作の習得を図りながら、効果的なコミュニケーションの方法を知り、情報社会に関わろうとする態度を養う。
	自立活動	障がいの状態や発達段階を的確に把握し、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を培う。
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	基本的生活習慣の定着を図り、健康の保持・増進や身辺処理能力の向上と態度を養う。
	生活単元学習	生活に即した活動を通して、見通しをもって主体的に取り組むことができる活動を増やし、社会生活に必要な力を育てる。
	作業学習	作業活動を通して働くことに関心を持ち、主体的に働こうとする態度を育てる。 働く力につながる基本的な能力や態度を養う。

＜高等部の教育＞

知的障がい教育部門の教育　【重複障がい学級】

特別の教科　道徳		身の回りの人と積極的に関わることで、よりよい人間関係をつくるとともに、仲間と仲良く助け合おうとする態度を養う。	
総合的な探究の時間		いろいろな人と関わり、指導者や仲間と協力して活動に取り組むことで、自分や周りの人の良さに気づいたり、それを認めたりしようとする態度を育てる。	
特別活動	学級活動	学部や学校の活動に参加し、自分の役割を果たそうとする態度を養う。	
	生徒会活動	社会や集団の一員として活動に参加し、自分の仕事を最後までやり遂げようとする態度を育てる。	
	学校行事	・始業式、終業・修了式 ・入学式、卒業式 ・運動会、くらよう文化祭 くらようショップ ・修学旅行、各種検診	仲間と協力して活動を進めたり、指導者の指示で準備・片付けに取り組めるようにする。

＜高等部の教育＞

A部門（肢体不自由教育部門）単一障がい学級

高等学校に準じた教育課程＋自立活動

（例）現代の国語、言語文化、地理総合、数学Ⅰ、科学と人間生活、
体育、保健、書道、英語コミュニケーション、家庭総合、
情報Ⅰ、産業社会と人間、ホームルーム活動、
総合的な探究の時間
自立活動

＜高等部の教育＞

肢体不自由教育部門の教育 【重複障がい学級Ⅰ型】

指導の形態	教科等		努　力　点
教科別領域別の指導	国語		生徒の実態に応じて精選した指導内容の中で、社会生活に必要な国語を理解し、自分なりの方法で正確に自分の思いを伝え、自分の考えを表現しようとする態度を養う。
	社会		社会の様子、働きや移り変わりについて関心を持ち、社会生活に必要な能力と態度を養う。
	数学		生徒の実態に応じて指導内容を精選し、社会生活や職業生活に必要な数量、図形などに関する基礎的な理解を深め、自主的に生活に生かす態度を養う。
	理科		直接体験を重視し、自然の仕組みや働きなどについての理解を深め、科学的な見方や考え方を養うとともに、自然を大切にする態度を養う。
	音楽		生徒の実態に応じた音楽活動を工夫し、音楽の楽しさを味わうことができるようにする。
	美術		生徒の実態に応じた表現及び鑑賞活動を通して、造形活動の楽しさを味わい、余暇活動などの生活の中でも進んで活用する態度を養う。
	保健体育		個々の障がいの状態に応じて配慮し、体を動かすことや仲間と活動することを楽しみ、余暇活動などの生活の中でも進んで活用する態度を養う。
	選択	外国語	外国語を通じて、聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を養うとともに、言語や文化に対する理解を深める。
		情報	コンピュータなどの基礎的な操作の習得を図り、余暇活動やコミュニケーションの手段などの生活の中でも進んで活用する態度を養う。
	自立活動		障がいの状態や発達段階を的確に把握し、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を培う。

＜高等部の教育＞

肢体不自由教育部門の教育 【重複障がい学級Ⅰ型】

<table>
<tr><td colspan="2">特別の教科 道徳</td><td colspan="2">身の回りの人と積極的に関わることで、よりよい人間関係をつくるとともに、仲間と仲良く助け合おうとする態度を養う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">総合的な探究の時間</td><td colspan="2">いろいろな人と関わり、指導者や仲間と協力して活動に取り組むことで、自分や周りの人の良さに気づいたり、それを認めたりしようとする態度を育てる。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">特別活動</td><td>学級活動</td><td colspan="2">学部や学校の活動に参加し、自分の役割を果たそうとする態度を養う。</td></tr>
<tr><td>生徒会活動</td><td colspan="2">社会や集団の一員として活動に参加し、自分の仕事を最後までやり遂げようとする態度を育てる。</td></tr>
<tr><td>学校行事</td><td>・始業式、終業・修了式
・入学式、卒業式
・運動会、くらよう文化祭
くらようショップ
・修学旅行、各種検診</td><td>仲間と協力して活動を進めたり、指導者の指示で準備・片付けに取り組めるようにする。</td></tr>
</table>

＜高等部の教育＞

肢体不自由教育部門の教育 【重複障がい学級Ⅱ型】

指導の形態	教科等		努　力　点
教科別領域別の指導	国語		生徒の実態に応じて精選した指導内容の中で、社会生活に必要な国語を理解し、自分なりの方法で自分の思いを伝えようとする態度を養う。
	数学		生徒の実態に応じて指導内容を精選し、社会生活や職業生活に必要な数量、図形などに関する基礎的な理解を深め、自主的に生活に生かす態度を養う。
	音楽		音楽活動を通して身に付けたことを活用したり工夫しようとしたりする態度を養う。
	美術		形や色などの造形的な特徴や表し方の面白さなどについて感じ取り、工夫して絵を描いたり、作品を作ったりする喜びを味わうようにする。
	保健体育		個々の障がいの状態に応じて配慮し、楽しんで体を動かすことや仲間と一緒に活動する楽しさを感じるとともに、余暇活動などの生活の中でも進んで体を動かそうとする態度を養う。
	選択	外国語	外国語を通じて、聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を養うとともに、言語や文化に対する理解を深める。
		情報	コンピュータなどの基礎的な操作の習得を図り、余暇活動やコミュニケーションの手段などの生活の中でも進んで活用する態度を養う。
	自立活動		障がいの状態や発達段階を的確に把握し、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を培う。

＜高等部の教育＞

肢体不自由教育部門の教育 【重複障がい学級Ⅱ型】

各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	生徒の健康管理を重視し、体力の維持・向上に努める。 日常生活に必要な基本的生活習慣を身に付け、積極的に集団参加しようとする態度を養う。	
	生活単元学習	主体的に自分の力を発揮しながら、仲間と協力して、身に付けたことを生活に生かそうとする態度を養う。	
	ワーク	社会生活や職業生活に関する事柄について理解し、作業を通して諸機能の向上に努める。	
特別の教科　道徳		身の回りの人と積極的に関わることで、よりよい人間関係を作るとともに、仲間と仲良く助け合おうとする態度を養う。。	
総合的な探究の時間		いろいろな人と関わったり、経験の幅を広げたりすることのできる活動を取り入れることにより、自ら考え、主体的に探究しようとする力や態度を養う。	
特別活動	学級活動	一緒に生活する仲間と協力して意欲的に活動に参加しようとする態度を養う。	
	生徒会活動	積極的に集団の活動に参加し、よりよい人間関係を広げようとする態度を育てる。	
	学校行事	・始業式、終業式、修了式 ・入学式、卒業式 ・運動会、くらよう文化祭 ・くらようショップ ・修学旅行、各種検診	仲間と協力して活動を進めたり、指導者の指示で準備・片付けに取り組めるようにする。

知的障がい教育部門
単一障がい学級 時間割

	月	火	水	木	金
1	日生	日生	日生	日生	日生
2	作業	作業	情報	自立	情報
3	作業	作業	職業	作業	生単
4	作業	作業	社会/家庭	作業	生単
給食・休憩・掃除					
5	音美/保体	音美/保体	HR	音美/保体	音美/保体
6	職業	数学		国語	総合

知的障がい教育部門
重複障がい学級（Ｉ型）時間割

	月	火	水	木	金
1	日生	日生	日生	日生	日生
2	自立国数	自立国数	自立国数	音楽	自立国数
3	作業	作業	作業	作業	生単
4	作業	作業	作業	作業	生単
給食・休憩・掃除					
5	生単	音楽	HR	保体	保体
6	総合	情報		日生	日生

知的障がい教育部門
重複障がい学級（Ⅱ型） 時間割

	月	火	水	木	金
1	日生	日生	日生	日生	日生
2	自立国数	自立国数	自立国数	自立国数	自立国数
3	作業	作業	作業	作業	作業
4	自立	自立	自立	自立	自立
給食・休憩・掃除					
5	生単	音楽	HR	保体	保体
6	総合	情報		日生	日生

肢体不自由教育部門
単一障がい学級（Ｉ型） 時間割（案）

	月	火	水	木	金
1	体育	総合	言語文化	体育	数学A
2	数学Ⅰ	英語 コミュニケーションⅠ	自立	自立	外国語 論理・表現Ⅰ
3	情報Ⅰ	科学と人間生活	歴史総合	現代の国語	言語文化
4	科学と人間生活	保健	数学Ⅰ	英語 コミュニケーションⅠ	体育
給食・休憩・掃除					
5	地理総合	外国語 論理・表現Ⅰ	LHR	地理総合	歴史総合
6	英語 コミュニケーションⅠ	現代の国語	数学A	数学Ⅰ	書道

肢体不自由教育部門
単一障がい学級（Ⅱ型） 時間割（案）

	月	火	水	木	金
1	地理総合	現代の国語	言語文化	数学Ⅰ	地理総合
2	情報	英語 コミュニケーションⅠ	地理総合	科学と 人間生活	英語 コミュニケーションⅠ
3	体育	数学Ⅰ	情報	保健体育	数学Ⅰ
4	家庭総合	自立活動	LHR	産業社会と 人間	自立活動
給食・休憩・掃除					
5	科学と 人間生活	産業社会と 人間	保健	総合	総合
6	学習の進度等に応じて設定			学習の進度等に応じて設定	

肢体不自由教育部門
重複障がい学級（Ｉ） 時間割（案）

	月	火	水	木	金
1	国語	自立活動	国語	自立活動	国語
2	保健体育	数学	数学	社会	数学
3	ワーク	外国語/情報	ワーク	外国語/情報	生単
4	美術	理科	社会	保健体育	生単
給食（自立活動）					
5	音楽	総合	HR	理科	音楽
6	日生	自立活動		自立活動	日生

肢体不自由教育部門
重複障がい学級（Ⅱ） 時間割（案）

	月	火	水	木	金
1	日生	日生	日生	日生	日生
2	自立活動	自立活動	自立活動	音楽	自立活動
3	ワーク	総合	ワーク	生単/美術	生単/美術
4	国語	国語	数学	自立活動	数学
給食（自立活動）					
5	国語	音楽	HR	保健体育	保健体育
6	日生	日生		日生	日生

肢体不自由教育部門
重複障がい学級（Ⅲ） 時間割（案）

	月	火	水	木	金
1	日生	日生	日生	日生	日生
2	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動
3	数学	国語/美術	国語/美術	国語/美術	音楽
4	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動
給食（自立活動）					
5	日生	自立活動	HR	総合	自立活動
6	日生	日生		日生	日生

作業学習

・ 作業活動を通して**働くことに関心**を持ち、**主体的に働く態度**を育てる。
・ 作業全体を理解し、自分の仕事に**責任**を持ち、他者と協力して作業する**技能と態度**を養う。
・ 働く力につながる**基礎的な能力や態度**を養う。

【単一障がい学級】
〇工芸班･･･木工、織物など
〇窯業班･･･小皿、植木鉢作りなど
〇農業班･･･野菜作りなど

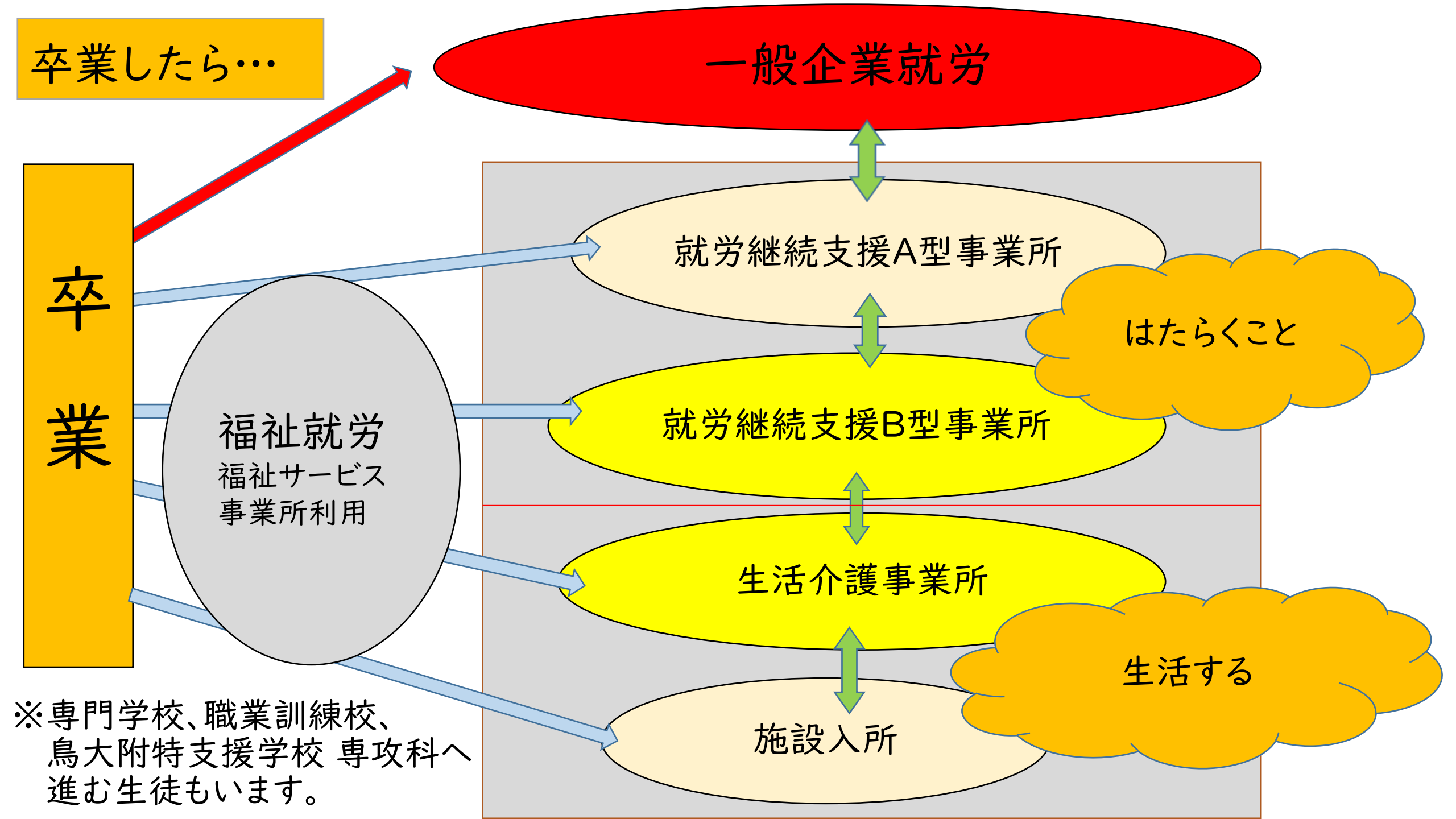
【重複障がい学級】
〇農業グループ･･･野菜作りなど
〇紙工グループ･･･牛乳パックのリサイクル

高等部　卒業後の進路へ向けて

	産業現場等における実習の目標	実施時期 各10日間
1年	知る。	①6月、②10月 （6月は5日間）
2年	しぼる。	①6月、②10月
3年	きめる。	①6月、②10月 ＋期間外実習

高等部　卒業後の進路（R5、6年度）

分類	進路先
一般就労（障害者雇用枠等）	エバークリーン、セブンイレブン、一笑堂、 マルイ（上井店、東伯アプト店）、大黒天物産
就労継続支援（B型）	東伯けんこう、りあん・クールみりゅ～、ライトピア、スマイルセンター倉吉、ボン・シャンス、もなみ、共生ホームこころ、ワークス倉吉、ハッピーバーディー
生活介護等	Gottcha、Esola、ボン・シャンス、スマイルセンター倉吉 鳥取医療センター


卒業したら…
一般企業就労
卒業
就労継続支援A型事業所
はたらくこと
福祉就労
福祉サービス
事業所利用
就労継続支援B型事業所
生活介護事業所
生活する
施設入所
※専門学校、職業訓練校、
鳥大附特支援学校 専攻科へ
進む生徒もいます。

高等部生徒の自立と社会参加へ向けて ①

実習での体験を通して、自分の得意、苦手を知る。

自分だけでできないことは、周りの人に助けていただく。

高等部生徒の自立と社会参加へ向けて ②

自分ができることを最大限に伸ばす。

繰り返し作業する中で成長する。

高等部生徒の自立と社会参加へ向けて ③

何より、働きたいという意欲が大事。

働く態度を身につけることが大事。

鳥取県立倉吉養護学校　高等部進学にあたって

未来に向かい、自分らしく輝き、豊かに生きる子どもを育成する

キーワード：自立と社会参加

体験入学での姿をしっかり見て、
進路を選択していただければと思います。